

「VOC 近畿ネット」は、構成機関である国、地方公共団体、関係業界団体及び関連支援団体等が、VOCに関する情報と問題意識を共有し、相互に連携してVOCの排出抑制に向けた活動の促進を目的とする地域ネットワークです。

目次

- 【1】トピックス VOC 排出抑制支援ソフト（EVABAT システム）の試験運用開始
- 【2】トピックス VOC 対策の今後のあり方について
- 【3】情報紹介 地方公共団体の環境関連情報

=====
【1】トピックス ~ VOC 排出抑制支援ソフト（EVABAT システム）の試験運用開始 ~

EVABATシステムとは

EVABAT（エババット）システムとは、「経済的に実行可能な最優良可能技術」の略で、産業洗浄分野におけるVOCの排出抑制対策を支援するためのパソコン用ソフトであり、塩素系洗浄剤を使用している中小事業者によるご利用を想定しています。

このシステムは、日本産業洗浄協議会の協力の下、環境省による請負事業などを経て、東京大学が開発してきたものです。一般財団法人関西環境管理技術センターは、今後の当システムの開発、普及に協力していくことになりました。

システムの特徴としては、洗浄現場の個別の条件に合わせて、投資可能な無理のない範囲での排出抑制対策の効果を検討することができます。

排出抑制効果が定量的に評価でき、ランニングコストや投資費用の償却期間の計算が可能です。

日本産業洗浄協議会 EVABATシステムの概要

EVABATシステム

EVABATシステム
—<VOC排出抑制技術> 効果と経済性のシミュレーション評価—

| 概要 | 運用方法 | 申込方法 | 参考資料 | お知らせ | リンク |

試験運用
開始

システムの概要

EVABATシステム（エババット システム）とは、産業洗浄工程から出る揮発性有機化合物（VOC）を対象として、排出抑制対策の選定を支援するためのパソコン用ソフトです。特に中小企業の方々のご利用を想定しております。このシステムは、日本産業洗浄協議会の協力の下、環境省事業を通して、東京大学で開発されたものです。

図は、EVABATシステムの評価プロセスを示しています。上部には「洗浄実施状況」があり、その下に「リスク評価」と「コスト評価」の2つの評価項目が示されています。両者は「定量的評価」として統合され、最終的に「ユーザーの条件に応じた評価結果の提示」が行われます。

- 洗浄実施状況
 - ・生産条件
 - ・洗浄剤の利用状況など
- リスク評価
 - ・洗浄剤の物理化学的性状
 - ・洗浄剤のもつハザード
 - ・排出抑制対策の効果など
- コスト評価
 - ・洗浄剤の購入費
 - ・対策の導入費など

（出所：日本産業洗浄協議会 EVABAT システム システムの概要）

URL：<http://www.jicc.org/contents/evabat-index.html>

EVABATシステムの試験運用について

日本産業洗浄協議会では、EVABATシステムの試験運用を開始しています。

試験運用は、次の2通りで行っています。試験運用を希望される方は、下記申込方法をご覧のうえ、メールでお申し込みください。

ご利用いただいた結果は本システムのさらなる改良に活用させていただきます。
(EVABATシステムは、最終的にはWebサイトで公開する予定です。)

【運用方法】

アドバイザー派遣による運用
体験版配布

【試験運用の期間】

平成 23 年 8 月 31 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日

日本産業洗浄協議会 EVABAT システムの運用方法

システムの運用方法

EVABATシステムの試験運用版(ベータ版)は、以下のように、①アドバイザー派遣による運用、②体験版配布の2通りによる運用を行っております。

試験運用の期間:平成23年8月31日～平成24年3月31日

①アドバイザー派遣による運用

洗浄技術の専門知識をもったアドバイザーが洗浄現場を訪問します。現場訪問は2回行います。
1回目の訪問では、EVABATシステムを使った診断、アドバイスをを行います。
2回目の訪問では、改善結果を確認させていただきます。

【注意事項】

- ・アドバイザー派遣は、お申し込み頂いた後、日本産業洗浄協議会内のEVABAT推進グループで審議の上、決定させていただきます。予めご了承下さい。
- ・また、洗浄装置等のデータのご提供が前提となります。ご提供頂いたデータは、当システムの改良に活用させていただきます。

【申込方法】

申込方法はこちらをご覧ください。



②体験版配布

EVABATシステムの体験版も配布しております。
機能は限定的で、定量的な計算はできませんが、システムの概要がわかります。

【注意事項】

- ・配布数に限りがございますので、在庫切れの場合にご容赦下さい。
- ・動作環境はこちらをご覧ください。

【申込方法】

申込方法はこちらをご覧ください。

(出所 : 日本産業洗浄協議会 EVABAT システム システムの運用方法)

URL : <http://www.jicc.org/contents/evabat-sub01.html>

システム利用の申込方法

EVABATシステムの試験運用版(ベータ版)のご利用の申込には、以下のように、①アドバイザー派遣による運用、②体験版配布の2種類のパターンがあります。どちらかをお選びの上、お申し込み下さい。

①アドバイザー派遣希望の場合

受付はメールのみで行っております。
メールの本文に以下の事項をご記入の上、専用アドレスにお送り下さい。

送付先	evabat-jicc(at)coda.ocn.ne.jp ※(at)を@に変更して下さい。
タイトル	【EVABATアドバイザー派遣希望】として下さい。
本文	<p>メールの本文に以下の事項をご記入下さい。 ご記入内容に基づいて、当協議会内EVABAT推進グループで審議致します。</p> <p>(1)連絡先 ・会社名/組織名 ・ご所属 ・ご役職 ・所在地 ・従業員数 ・申込者氏名 ・E-Mail ・電話番号 ・FAX番号</p> <p>(2)対策を実施したい洗浄装置の情報 ・洗浄装置のタイプ(開放型/密閉型) ・ご使用の洗浄剤 ・被洗浄物 ・汚れの種類 ・これまでに実施されている対策</p> <p>(3)ご使用されているパソコン ・OS(Windows XP/Windows Vista/Windows 7/その他) ・エクセルのバージョン(97/2000/2002/2003/2007/2010)</p> <p>(4)課題 ・VOC排出抑制における現状の課題、アドバイザーへの相談事項</p>

※アドバイザーの派遣方法については、こちらをご覧ください。

[注意事項]

- ・アドバイザー派遣は、お申し込み頂いた後、日本産業洗浄協議会内のEVABAT推進グループで審議の上、決定させて頂きます。予めご了承下さい。
- ・また、洗浄装置等のデータのご提供が前提となります。ご提供頂いたデータは、当システムの改良に活用させて頂きます。
- ・アドバイザー派遣費用は無料です。

②体験版希望の場合

受付はメールでのみ行っております。
メールの本文に以下の事項をご記入の上、専用アドレスにお送り下さい。

送付先	evabat-jicc(at)coda.ocn.ne.jp ※(at)を@に変更して下さい。
タイトル	【EVABAT体験版希望】として下さい。
本文	<p>メールの本文に以下の事項をご記入下さい。</p> <p>・会社名/組織名 ・ご所属 ・ご役職 ・所在地 ・申込者氏名 ・E-Mail ・電話番号 ・FAX番号</p>

[注意事項]

- ・CDを郵送でお送り致します。着払いとなりますので、予めご了承下さい。
- ・配布数に限りがございますので、在庫切れの場合はご容赦下さい。
- ・下表の環境で動作確認済みです。

<動作確認済みの環境>

OS	エクセルのバージョン
Windows XP	Excel 2003

(出所：日本産業洗浄協議会 EVABAT システム システム利用の申込方法)

URL：<http://www.jicc.org/contents/evabat-sub02.html>

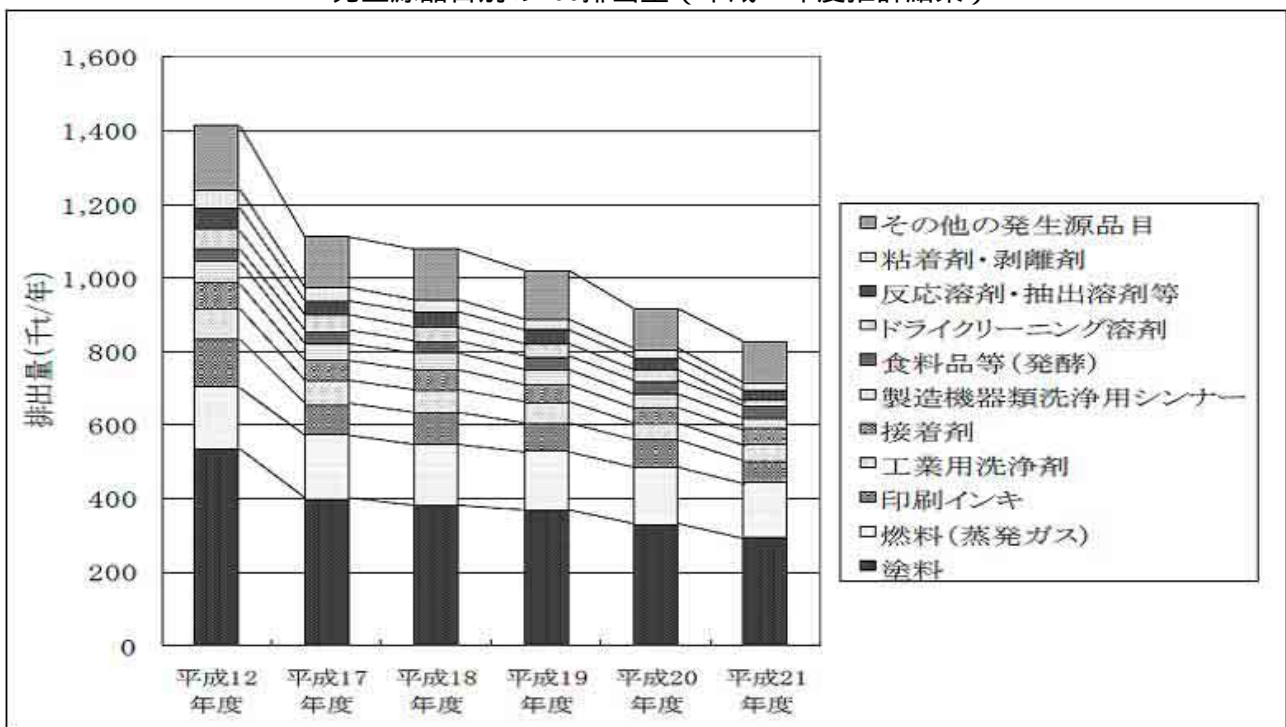
【2】トピックス ～VOC 対策の今後のあり方について～

中央環境審議会大気環境部会 揮発性有機化合物排出抑制専門委員会(第14回)の結果

6月2日に開催された本委員会において、VOC総排出量の推計方法、排出抑制の取組による削減状況、経済指標と排出量の関連性の分析結果等が報告され、平成23年度以降の排出抑制対策のあり方及び今後の課題と検討が望まれる内容等について審議が行われました。

現状としては、VOCの総排出量は平成21年度で12年度に比べて約42%の削減となり、定点測定におけるVOC濃度も経年的に低減し、対象地域における大気中のSPM濃度の環境基準も100%に近い達成率になっていますが、光化学オキシダントの注意報発令回数については、多少低減傾向はみられるものの、当初想定されていたほどには低減していないことが報告されました。

発生源品目別のVOC排出量（平成22年度推計結果）

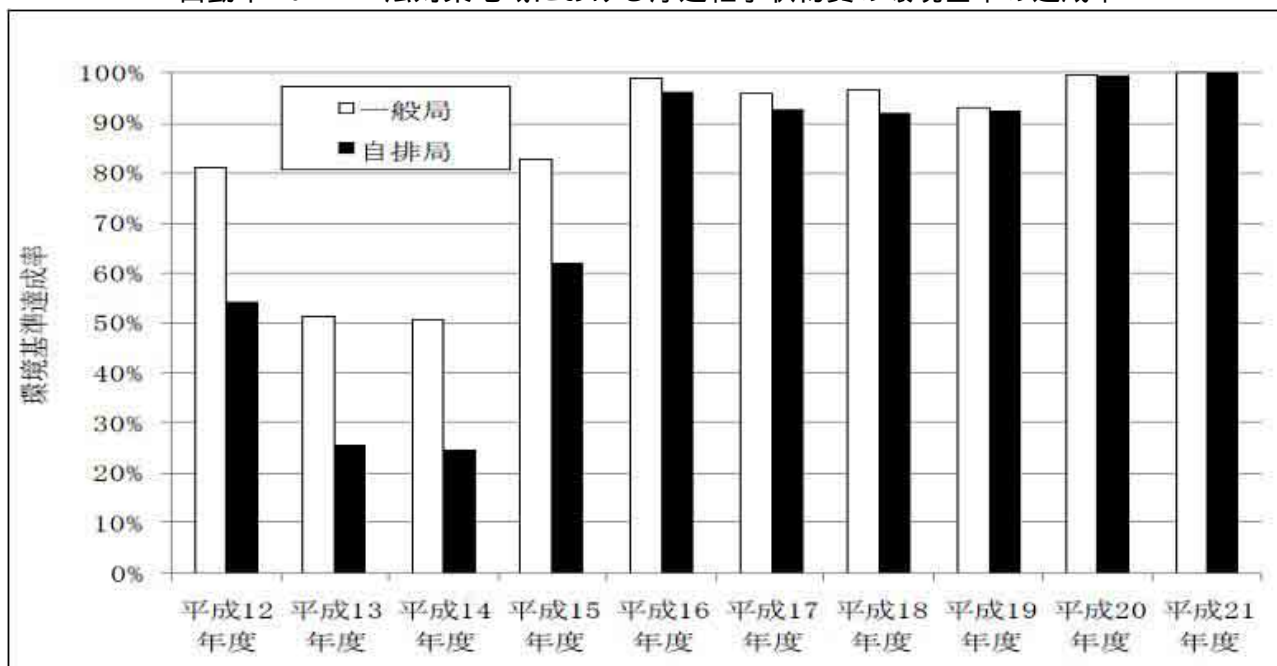


(出所：中央環境審議会大気環境部会 揮発性有機化合物排出抑制専門委員会(第14回) 次期揮発性有機化合物(VOC)対策のあり方の検討ワーキンググループ報告資料)

(出所：第18回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会資料)

URL : <http://www.env.go.jp/council/07air/y074-14/mat03.pdf>

自動車 NOx・PM 法対策地域における浮遊粒子状物質の環境基準の達成率

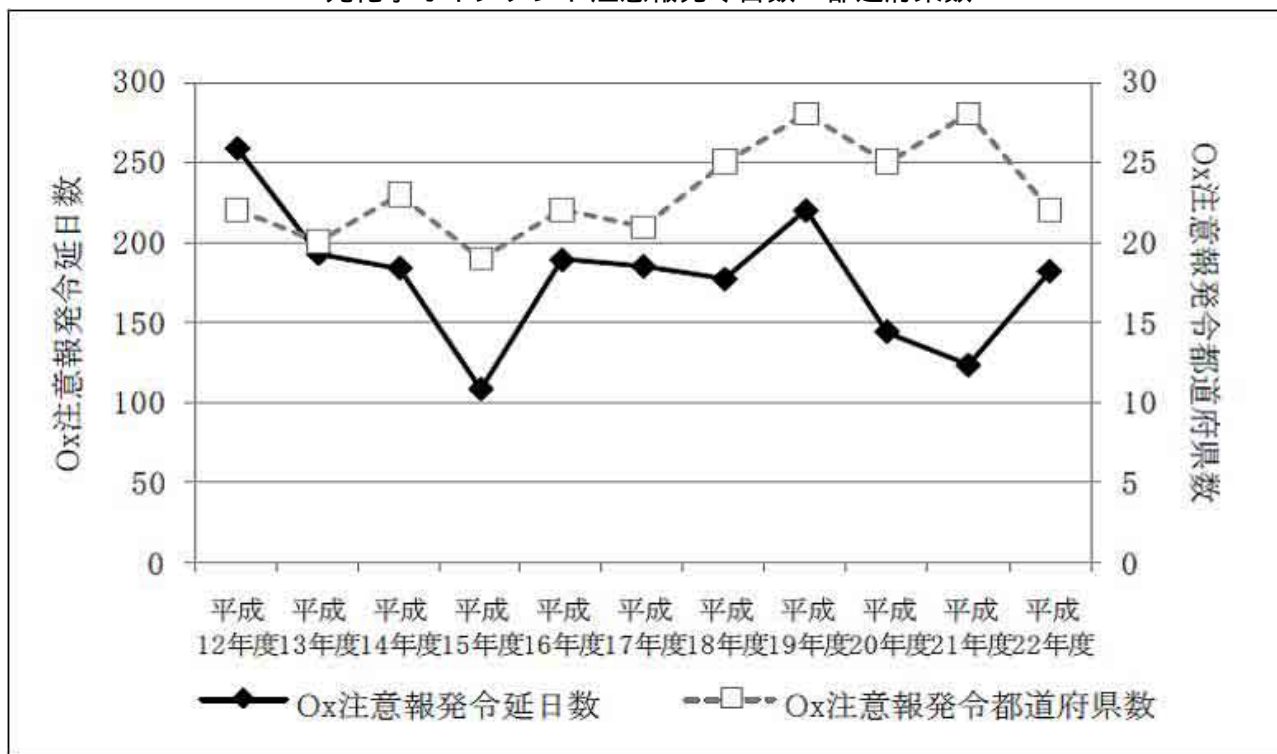


(出所：中央環境審議会大気環境部会 揮発性有機化合物排出抑制専門委員会（第14回）次期揮発性有機化合物（VOC）対策のあり方の検討ワーキンググループ報告資料）

(出所：平成21年度大気汚染状況について)

URL：<http://www.env.go.jp/council/07air/y074-14/mat03.pdf>

光化学オキシダント注意報発令日数・都道府県数



(出所：中央環境審議会大気環境部会 揮発性有機化合物排出抑制専門委員会（第14回）次期揮発性有機化合物（VOC）対策のあり方の検討ワーキンググループ報告資料）

(出所：平成22年光化学大気汚染の概要 - 注意報等発令状況、被害届出状況 - (お知らせ))

URL：<http://www.env.go.jp/council/07air/y074-14/mat03.pdf>

平成23年度以降の取組みについては、産構審WGの審議結果と同様、法規制と自主的取組みを組み合わせた排出抑制制度は引き続き継続するが、平成22年度末の削減目標の達成が見込まれるため、新たな削減目標は設定しないこと及びVOCの排出状況については引き続きフォローアップしていくことが確認されました。

今後の課題としては、VOC排出量の削減と光化学オキシダントの削減が当初の想定から乖離した原因を整理して、光化学オキシダントについて今後、最新の科学的知見を充実した上での対策を検討することになりました。

また、検討が望まれる内容として、表1のものが挙げられました。

表1 今後検討することが望まれる内容

(目標設定について)

- 大気質の環境改善に係わる目標の再検討
人への環境影響や国際敵整合性に基づく、目標とする環境上の指標(光化学オキシダントの濃度、一定濃度以上の出現回数等)の見直し
SO₂、NO₂、SPM等すべての大気汚染物質に係る環境上の指標の見直し

(大気汚染状況の解明について)

- 光化学オキシダントの汚染実態のより正確な把握
光化学オキシダント高濃度出現の気象条件、環境状況等の整理
発生源(自然発生源も含む)と環境のVOC組成(含酸素化合物を含む)把握のための測定方法の統一とモニタリングの実施
汚染物質の広域的な立体分布の把握
光化学オキシダント・VOC成分の個人暴露量把握手法(モデリングと実測)の開発とモニタリングの実施
常時監視局の補完も含めて、大気汚染の平面分布の把握、及び、個人への健康影響評価を目的とする。

(対策検討のための情報やツールの整備)

- 光化学オキシダント等二次生成大気汚染シミュレーションモデルシステムの構築と検証
汚染機構ごとの高濃度の出現を再現できるモデルを構築
モデルやモデルの計算結果の適用範囲(現象や地域等)の明確化
VOC、NO_x、光化学オキシダントとも関連するPM_{2.5}についても対象としたモデルの構築
- VOC排出量把握のための継続的な取組の実施
現行の推計レベルが可能なシステムの維持
推定でない情報の社会的な収集の仕組みづくりの検討
自然発生源等も含めたVOC排出量の把握制度の向上
- シミュレーション等による情報整理の実施
物質や発生源ごとの光化学オキシダント環境濃度への寄与の把握
これまでに行われてきたVOC排出抑制や越境大気汚染による光化学オキシダントやSPM/PM_{2.5}濃度への影響の把握

(出所：中央環境審議会大気環境部会 揮発性有機化合物排出抑制専門委員会(第14回) 次期揮発性有機化合物(VOC)対策のあり方の検討ワーキンググループ報告資料)

URL：<http://www.env.go.jp/council/07air/y074-14/mat03.pdf>

【3】情報紹介 ～環境関連情報～

地方公共団体の環境関連情報

地方公共団体の最新情報を集約した環境関連情報を下記のHP上で紹介しています。

福井県 安全環境部 環境政策課

<リンク先>

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/>

滋賀県 琵琶湖環境部 環境政策課

<リンク先>

<http://www.pref.shiga.jp/d/kankyo/>

京都府 文化環境部 環境管理課

<リンク先>

<http://www.pref.kyoto.jp/soshiki/detail/45.html>

大阪府 環境農林水産部 環境管理室 環境保全課

<リンク先>

<http://www.pref.osaka.jp/kankyohozen/shokai.html>

大阪府 環境農林水産部 環境管理室 事業所指導課

<リンク先>

<http://www.pref.osaka.jp/jigyoshoshido/shokai.html>

兵庫県 農政環境部 環境管理局 水大気課（大気環境）

<リンク先>

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw28/hw28_000000011.html

奈良県 暮らし創造部 景観・環境局 環境政策課

<リンク先>

<http://www.eco.pref.nara.jp/>

和歌山県 環境生活部 環境政策局 環境管理課

<リンク先>

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/>

京都市 環境政策局 環境企画部 環境指導課

<リンク先>

http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-2-3-0-0_1.html

大阪市 環境局

<リンク先>

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

堺市 環境局 環境保全部

<リンク先>

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kankei/index.html

高槻市 環境部 環境政策室 環境保全課

<リンク先>

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/db/kankyohozen/kankyohozen.html>

神戸市 環境局 環境創造部 環境保全指導課

<リンク先>

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/about/construction/1900/1942/index.html>

皆様とともに有意義なメールマガジンとなるよう努めてまいります。
ご紹介したい情報・ご意見・ご希望等ございましたら、事務局までご連絡
下さい。